

銘木香るバー貸します

岡山市内の老舗高級木材店の一角が、飲食店風に改装されて貸し出されている。木の香りが漂う空間の魅力を多くの人に体験してもらい、木の魅力を再認識してもらおうという試みだ。



「銘木ばあ」で飲食を楽しむ人たち＝岡山市北区石関町

岡山の老舗高級木材店

夜、「中塚銘木店」(北区石関町)の倉庫の窓越しに、杯を酌み交わす男女の姿が浮かびあがった。室内にはクリの一枚板を使ったカウンターや、ケヤキのテーブルなどがしつらえられている。貸しスペースの名前は「銘木ばあ」。市内の会社員市原裕貴さん(32)は「木の香りが気持ちよく、お酒が進みます」と相好を崩した。

法被姿で「バー」を切り回すのは、横田都志子さん(46)。「昼間の顔」は市内に事務所を構える建築士だが、「バー」などの設計を手がけるうち、自分もやりたくなって。月

「飲みながら 魅力感じて」

に3日、ここを借りてバーを開く。

住宅向け高級木材を扱う中塚銘木店は、展示場に使っていた倉庫内の5坪ほどのスペースにキッチンや食器棚を整え、昨年6月に「銘木ばあ」をオープンさせた。「ばあ」は「バー」と岡山弁の「くばかり」をかけた。パーティーや懇親会にも利用されている。

享和元(1801)年の創業で、和室の床柱などを多く扱うが、近年、和室用銘木の需要は下り坂という。中塚利信社長(55)は「飲食などを楽しみながら、銘木の魅力に親しんでもらえたら」と話す。

利用料は、基本料金2625円と1時間あたり525円(光熱費など込み)。貸出時間は9～24時。飲食物の持ち込み自由。ただし、利用には原則として紹介者が必要。問い合わせは中塚銘木店(086・225・0755)へ。

(柏崎 敬)